

| | | | | | | | |
|------|-----------------------|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 全学必修 | | | | | | |
| 科目名 | 神戸松蔭とキリスト教／単位認定者：待田昌二 | | | | | | |
| 担当教員 | 単位認定者：待田昌二 | | | | | | |
| 学期 | 前期／1st semester | 曜日・時限 | 木曜1 | 配当学年 | 1 | 単位数 | 2.0 |

| | |
|------------------------------------|--|
| 授業の目的、概要 Objectives and content | <p>テーマ 神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する</p> <p>私立大学は、それぞれ固有の顔を持っています。神戸松蔭の歴史とキリスト教に基づく建学の精神を学ぶことで、神戸松蔭をよりよく理解してここで学ぶ意義を見出すことを目的とした授業です。本学の歴史と建学の精神だけでなく、本学が発展してきた土壌である神戸という土地とキリスト教の活動と文化について、幅広い分野から講師、ゲスト・スピーカーを迎えて学び考えていきます。</p> |
| 授業計画 Syllabus | <p>第1回 神戸松蔭の歴史</p> <p>第2回 神戸松蔭のキリスト教はどう違う？</p> <p>第3回 日本におけるキリスト教</p> <p>第4回 外国文化の窓口としての神戸</p> <p>第5回 神戸らしさって何？</p> <p>第6回 現代に生きる讃美歌（1）</p> <p>第7回 現代に生きる讃美歌（2）</p> <p>第8回 西洋美術のルーツとしてのキリスト教美術</p> <p>第9回 いのちを考える： 阪神淡路大震災</p> <p>第10回 いのちを考える： 震災と復興（1）</p> <p>第11回 いのちを考える： 震災と復興（2）</p> <p>第12回 なぜ人を助けるのか： マザーテレサ</p> <p>第13回 なぜ人を助けるのか： 児童福祉の現場から</p> <p>第14回 なぜ人を助けるのか</p> <p>第15回 まとめと試験</p> |
| 参照URL Reference URL(s) | |
| 授業方法 Class type | 講義 |
| 評価方法 Evaluation | <p>課題提出など平常点60%と試験40%</p> <p>基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出があります。</p> <p>最後に、それまでの授業全体を振り返った試験を行いますので、各回のノートや配布物は保存しておいてください。</p> |
| 履修上の注意 Requirements and policy | 体験的な内容を含む場合がありますので遅刻・中途退席厳禁。 |
| 教科書 Textbook(s) | |
| 参考書 Reference(s) | |
| 備考 Remarks | |

| | | | | | | | |
|------|-----------------------|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 全学必修 | | | | | | |
| 科目名 | 神戸松蔭とキリスト教／単位認定者：宮本 憲 | | | | | | |
| 担当教員 | 単位認定者：宮本 憲 | | | | | | |
| 学期 | 前期／1st semester | 曜日・時限 | 水曜1 | 配当学年 | 1 | 単位数 | 2.0 |

| | |
|------------------------------------|--|
| 授業の目的、概要 Objectives and content | <p>テーマ 神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する</p> <p>私立大学は、それぞれ固有の顔を持っています。神戸松蔭の歴史とキリスト教に基づく建学の精神を学ぶことで、神戸松蔭をよりよく理解してここで学ぶ意義を見出すことを目的とした授業です。本学の歴史と建学の精神だけでなく、本学が発展してきた土地である神戸という土地とキリスト教の活動と文化について、幅広い分野から講師、ゲスト・スピーカーを迎えて学び考えていきます。</p> |
| 授業計画 Syllabus | <p>第1回 神戸松蔭の歴史</p> <p>第2回 神戸松蔭のキリスト教はどう違う？</p> <p>第3回 日本におけるキリスト教</p> <p>第4回 外国文化の窓口としての神戸</p> <p>第5回 神戸らしさって何？</p> <p>第6回 現代に生きる讃美歌</p> <p>第7回 現代に生きる讃美歌</p> <p>第8回 西洋美術のルーツとしてのキリスト教美術</p> <p>第9回 いのちを考える： 阪神淡路大震災</p> <p>第10回 いのちを考える： 震災と復興</p> <p>第11回 いのちを考える： 震災と復興</p> <p>第12回 なぜ人を助けるのか： マザーテレサ</p> <p>第13回 なぜ人を助けるのか： 児童福祉の現場から</p> <p>第14回 なぜ人を助けるのか</p> <p>第15回 まとめと試験</p> |
| 参照URL Reference URL(s) | |
| 授業方法 Class type | 講義 |
| 評価方法 Evaluation | <p>課題提出など平常点60%と試験40%</p> <p>基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出があります。</p> <p>最後に、それまでの授業全体を振り返った試験を行いますので、各回のノートや配布物は保存しておいてください。</p> |
| 履修上の注意 Requirements and policy | 体験的な内容を含む場合がありますので遅刻・中途退席厳禁。 |
| 教科書 Textbook(s) | |
| 参考書 Reference(s) | |
| 備考 Remarks | |